

事務事業評価シート

(評価対象年度：令和 2 年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名		テイクアウト・デリバリー支援事業					②事業番号		3420		
③事業類型		7. 負担金・補助金事業			④開始年度		令和 2 年度	⑤終了予定年度		令和 2 年度	設定なし
⑥根拠法令等		法令	条例	規則	○要綱	計画等	その他	法令等の名称 泉南市テイクアウト・デリバリー支援事業補助金交付要綱			
⑦実施手法		直営	全部委託	一部委託	○補助・負担	その他					
⑧関連予算科目コード			款	6	項	1	目	2	細目	7	
⑨担当部名			⑩担当課名						会計 一般会計		
市民生活環境部			産業観光課								

2. 事務事業の現状把握【DO】

〔1〕事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)	対象指標(対象者数を表す指標)	単位
①市内の飲食店	①市内飲食店数	件
②	②	
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)	活動指標(活動の量を表す指標)	単位
市内の飲食店に対して、配食事業に係る経費の3/4を補助する。(上限20万円)	①補助金交付企業数	件
	②	
	③	
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
新型コロナウイルス感染症の影響により、売り上げの激減した飲食店の新たな事業へのサポートをする。	①補助対象事業者が事業に要した経費	円
	②補助金活用結果	%
	③	
(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)	総合計画体系上の位置付け	
新型コロナウイルス感染症により影響を受けている飲食店を支援することにより、地域経済の活性化を図る。	政策(章)	3 産業の活力が増し、賑わいと交流が生まれるまち
その他の体系上の位置づけ (3-3-1-1): 地域商業の活性化 (3-3-2-1): 宅配事業の促進	施策大(節)	2 さまざまな製造業が集積し、また新たな産業が発展していくまちをめざします
	施策中	1 製造業の振興
	施策小	3 企業立地・創業の促進

〔2〕各種指標値、事業費の推移

指標名	単位	H30実績	R1実績	R2実績	R3見込	R4目標	指標値の推移における特殊要因などの説明
対象指標① 市内飲食店数	件			183			市内飲食店数は政府統計「政府統計でみる市区町村のすがた」による。(R2)
対象指標②							
活動指標① 補助金交付企業数	件			26			
活動指標②							
活動指標③							
成果指標① 補助対象事業者が事業に要した経費	円			8,100,098			事業費などの推移における特殊要因などの説明
成果指標② 補助金活用結果	%			63			
成果指標③							
事業費 投入人員 正職員	人			0.25			
事業費 投入人員 任期付職員	人			0.05			
事業費 投入人員 臨時職員	人			0.00			—
事業費 人件費(投入人員*単価)	千円			2,059			
事業費 直接事業費	千円			5,100			
事業費 総事業費	千円			7,159			
財源内訳 国庫支出金	千円			5,100			
財源内訳 府支出金	千円			0			
財源内訳 受益者負担金	千円			0			
財源内訳 その他特定財源	千円			0			
財源内訳 一般財源	千円			2,059			

〔3〕事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	新型コロナウイルス感染症の影響により来客が減少している中で、市内飲食店の活路を見出すため。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	—
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	—

3. 事務事業の評価【CHECK】

〔1〕目的妥当性(必要性)

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔1〕の評価

A

評価項目	評価及び理由・説明等	
①事業サービス内容、質、規模等は市民のニーズや社会環境に合っていますか。 (他団体と比較してどうですか。)	ア. 合っている イ. ある程度 ウ. いない	新型コロナウイルス感染症の感染リスクを抑制することができ、市内の飲食店を支援することができるため、必要な事業である。

〔2〕有効性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔2〕の評価

A

②期待どおりの成果が得られていますか。	ア. 得られている イ. ある程度 ウ. いない	市内の飲食店の安定経営に対して大きく寄与していると思われる。
③今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。 (事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができますか。)	ア. ある イ. ない	—
④庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できますか。	ア. 類似なし イ. できる ウ. できない	—

〔3〕効率性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔3〕の評価

A

⑤成果を下げずに事業を工夫してコスト(直接事業費＋人件費)を削減する手法はありませんか。 (業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などではありませんか。)	ア. ある イ. ない	—
---	----------------	---

4. 総合評価

総合評価	評価(A～D)	個別評価の結果を踏まえて課題等を整理
	A	新型コロナウイルス感染症の感染拡大が懸念される中、市内の飲食店に対する支援は必要である。 A:現状のまま事業を進めることが適当 B:課題が少しあり事業の一部見直しが必要(事業の進め方に改善が必要) C:課題が多くあり事業の大幅な見直しが必要(事業規模、内容、実施主体の見直しが必要) D:事業の統合、休止・廃止の検討が必要

5. 改革、改善案【ACTION】

<今後の方向性>

ウ	ア. 現状のまま継続 イ. 見直しのうえで継続 ウ. 終了 エ. 休止 オ. 廃止	(2 年まで) (年 から) (年 から)
	<今後の展開方針> a. 重点化する(集中的なコスト投入) b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える) c. 効率化する(コストを下げる) d. 簡素化する(規模を縮小する) e. 統合する(他の事務事業と統合する)	

①改革、改善の具体案、実施年度など	—
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策	—